

令和3年度 三本松市民センター

川柳入選句

川柳宮城野社



仁多見 千絵 選

選者総評

皆さんとても上手に川柳を詠まれていると感じました。

川柳は五七五のリズムを大切にしながら、人間の喜怒哀楽すべてを句にすることが出来ます。

美しいものを見た感動、おいしいものを食べた喜び、喧嘩をしてしまった時の心の動揺、大切な人との別れ、日々の暮らしの中に句材は限りなくあります。

コロナ禍の今、自宅で過ごす時間が増えています。もっともっと川柳を楽しんでください。



課題『歩く』

★佳作

散歩するモチベーションはパン屋さん

エミリー

一万歩ついに達成快い

雅代

仲間おりどちらともなく歩み寄る

ノンタン

万歩計今日の暮らしを振り返る

工藤 富代

マラソンのつもりがいつも歩いてる

クマリン

★特選

特選3 赤ちゃんの一步記念にハイチーズ

慶ちゃん

何事も最初の一步は大事な一步です。趣味への一步、リハビリへの一步。人生への一步は間違いなく記念すべき一步。何より赤ちゃんの一步は可愛い。

特選2 ゆっくりと歩く母の背手を添える

じゅりりん

微笑ましい親子が目に見えます。年齢が上がると、何をするにも時間がかかります。ゆっくりの動きに合わせている作者は優しい方なのでしょう。

特選1 ステップを踏む子いい事あったかな

弘子

コロナ禍で気の滅入る毎日。子どもの明るさは救いですよね。軽やかな曲に合わせてのステップ。子ども達には、どんな時も元気でいてほしいものです。

課題『音』

★佳作

夢うつつとなりのいびき今日も聞く

千賀子

雨垂れの音に聞き入り一休み

オイケイ

足音をあきず聞いてるアスファルト

千田 紀子

昼下がりにシャワーのように蝉時雨

時代 劇子

ロックかけ掃除機片手に踊りだす

デア

★特選

特選3 くつ音で父親と知る一年生

ケンチャン

今は家族や親子のあり方も変わりました中、子どもがお父さんの帰りを待っていてくれることは父親にとってもうれしいことです。「おかえり！」の元気な声が聞こえそうです。

特選2 便り待つ配達さんのバイク音

ポプラ

誰からの便りを待っているのでしょうか。恋人？友人？息子？娘？一日も早く受け取りたい便りなのでしょう。下五のバイク音が、とてもいいです。私は今、がん検診の結果のお知らせを待っています。

特選1 おかしいなモスキート音聞こえんぞ

ふうちゃん

モスキート音は17、6キロヘルツという高い周波数の音。二十代前半までの人が聞き取れるとのこと。作者の年齢は分かりませんが、聞こえなくて当然という年齢なのではないでしょうか。気持ちちは若いのだが・・・とユーモアの効いた句になっています。

課題『自由吟』

★佳作

若いわねマスクのおかげ今のうち

いずみ

暗い日々待ちこがれるは生ライブ

ネバリ屋権左工門

妻の趣味支えて暮らしリズム良し

佐藤 武

笑えない夏を背負ったオリンピック

鈴木 邦雄

国内に住むも会えない父母よ

けい



特選

特選3 よみきかせ子供の心つかみとる

佐々木 亀四男

キラキラした瞳で、絵本を読んでもらっている子ども達の様子が浮かびます。コロナ禍では、大勢の子ども達を集めての読み聞かせは難しいと思いますが、今は家庭で子どもと一緒に、絵本や童話を読む時間を楽しみましょう。

特選2 諦めずねばった君に金メダル

たっち

東京五輪は反対の声もありましたが、開催となりました。選手から勇氣や希望をもらった人も多かったのではないのでしょうか。日常の暮らしの中でも、金メダルをあげたり、もらったりたいことはたくさんあります。

特選1 卒寿まで生きてやるぞと四股をふむ

づばらや

卒寿とは九十歳のことですが、今は百歳時代と言われています。九十歳は通過点です。四股も良し、散歩も良し。体も心も元気に過ごしましょう。川柳は心を元気にしてくれますよ。

 市民センター賞（三本松市民センター職員選）

『歩く』

万歩計歩け歩けは明日から

回生堂

歩くとき口ずさむ歌たのしいな

あか

一角の道の長さに歩み止め

高橋 知行

駄目もとと速歩の妻を追いかける

渡辺 暢久

『音』

今はつゆいつまでつづく雨の音

ミツチ

夕暮のカナカナ蝉はもの悲し

建尾 リン

鳴く鳥のことば知りたし意味しりた

昔の娘

楽しみは友をたずねてチャイム押す

イエローバード

『自由吟』

二刀流昔武蔵今ショーヘイ

小野寺 彰

マージャンで役満あがる夢を見た

高橋 徹

当たるまで夢から醒めない宝くじ

梵我堂

五輪よりコロナが時代の最先端

ヘムレンさん